

事業概要シート

施策： 地域観光交流の推進

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 姉妹都市交流事業（仙北市・伊丹市・飯南町）	拡充	予算額	3,414 千円
		《 》	3,591 千円
財源内訳	国庫支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	3,414	千円

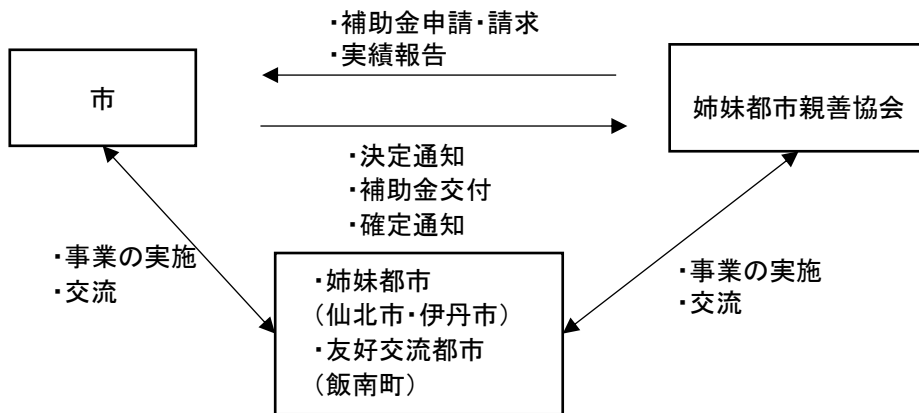
【事業の目的・概要・対象】

【目的】 姉妹都市、友好交流都市間の人的交流や経済・文化交流を活性化させる。

【概要】 姉妹都市協定を昭和54年に仙北市（角館町）、昭和55年に伊丹市と締結した。5年毎の姉妹都市締結記念事業を市と姉妹都市親善協会の共催で実施している。毎年、5月に伊丹市で開催されている「緑化フェア」に市と物産振興協会が参加し、6月に大村市で開催される「花菖蒲まつり」に仙北市から物産展を出店するなど、経済交流を図っている。また、平成27年に友好交流都市協定を締結した飯南町とは、「おおむら夏越まつり」、青少年親善交流（飯南町を訪問）を実施し、交流を深めている。

平成30年度は、戊辰戦争150周年の節目の年となるため、大村市で記念事業を開催する予定である。

【対象】 仙北市・伊丹市・飯南町及び大村市民、大村市姉妹都市親善協会



【背景】

姉妹都市親善協会の会員数は減少傾向にあるが、それを補うだけの新規会員の増加は困難な状況である。

姉妹都市、友好交流都市との交流を継続的に深めるため、さらに青少年等の相互交流を推進していく必要がある。また、物産振興協会等の関係団体と密な連携を図る一方、新規会員の加入促進にも努めていく。平成30年度は戊辰戦争150周年記念行事を開催し、姉妹都市である仙北市（角館町）を知るきっかけとなるよう周知を図っていく。また、伊丹市及び飯南町との新たな交流事業を検討・企画していく。

担当課	産業振興部 観光振興課	問合せ先	0957-53-4111（内線242）
-----	-------------	------	---------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	姉妹都市・友好交流都市との交流回数	目標値 回	5	5	6	6	6
②							

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	姉妹都市・友好交流都市相互訪問参加者及び協力者数	目標値 人	151	120	50	150	150
②		目標値					

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	2,534	2,550	3,229	3,591	3,414	3,518	18,836
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	2,534	2,550	3,229	3,591	3,414	3,518	18,836
人件費	2,053	2,344	2,465	2,457	0	0	9,319
職員	0.25人	0.30人	0.32人	0.32人			1.19人
時間外勤務	82h	114h	69h	65h			330h
嘱託員							0.00人
フルコスト	4,587	4,894	5,694	6,048	3,414	3,518	28,155

妥当性 (市の関与)	大村市姉妹都市親善協会等の民間団体における交流を推進するため、記念事業や各種交流事業への市の関与は妥当である。
有効性 (施策貢献度)	姉妹都市及び友好交流都市間の人的交流、経済・文化交流を活性化させることは、地域間交流を推進するための手段として有効であり、必要な事業である。
効率性 (コスト)	姉妹都市親善協会への補助金については、これまで見直しを図りコスト削減に努めており、報酬及び旅費も必要最小限であるため見直す余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり